

産業構造審議会・容器包装リサイクルワーキンググループ
中央環境審議会・容器包装の3R推進に関する小委員会
第6回合同会合説明資料

チェーンストアの環境への取組み

2013年12月19日



日本チェーンストア協会の概要

1. 設立

昭和42年(1967年)8月2日

2. 目的

チェーンストアの健全な発展と普及を図ることにより、小売業の経営の改善を通じて、わが国流通機構の合理化、近代化を促進するとともに、国民生活の向上に寄与する。

3. 会員資格

○通常会員

- ・チェーンストアを営む小売業法人であって、11店舗以上 または年商10億円以上のもの。
- ・チェーンストア事業を営む小売業法人を直接の子会社に持つ持株会社。

○賛助会員

協会の趣旨に賛同し、これに協力する者。

4. 会員企業数

- 通常会員 58社
- 特別賛助会員 20社
- 賛助会員 441社

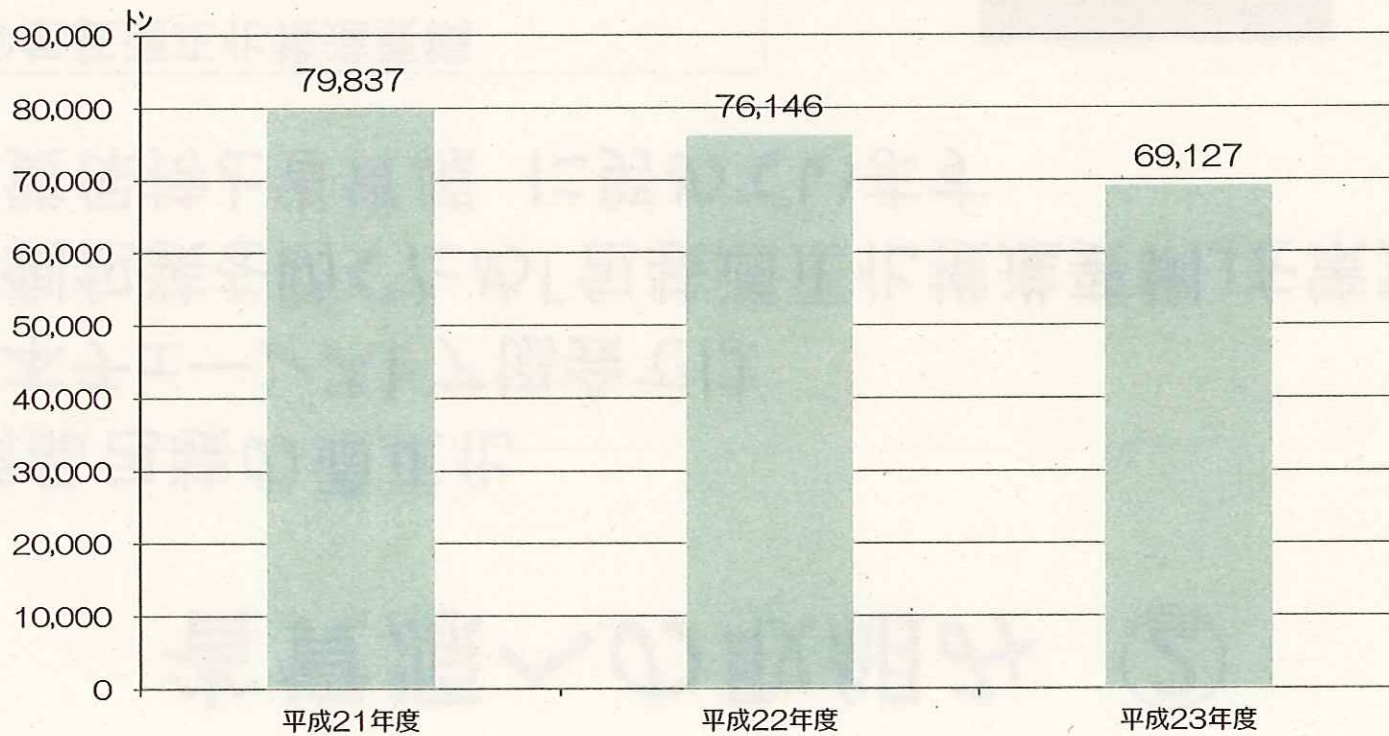
5. 会員企業売上高

12兆4,631億円(2012年度)

省資源への取組み ①

日本チェーンストア協会の会員の使用するプラスチック製容器包装は減少傾向にあります。

日本チェーンストア協会の会員企業のプラスチック製容器包装の使用量の推移



省資源への取組み ②

○商品包装の適正化

日本チェーンストア協会では
過剰包装を防ぐため「包装適正化推進要綱」を策定し、
品質保持と省資源 に努めています

- ◎包装適正化推進要綱
- ◎青果物包装改善要綱
- ◎塩干物包装改善要綱



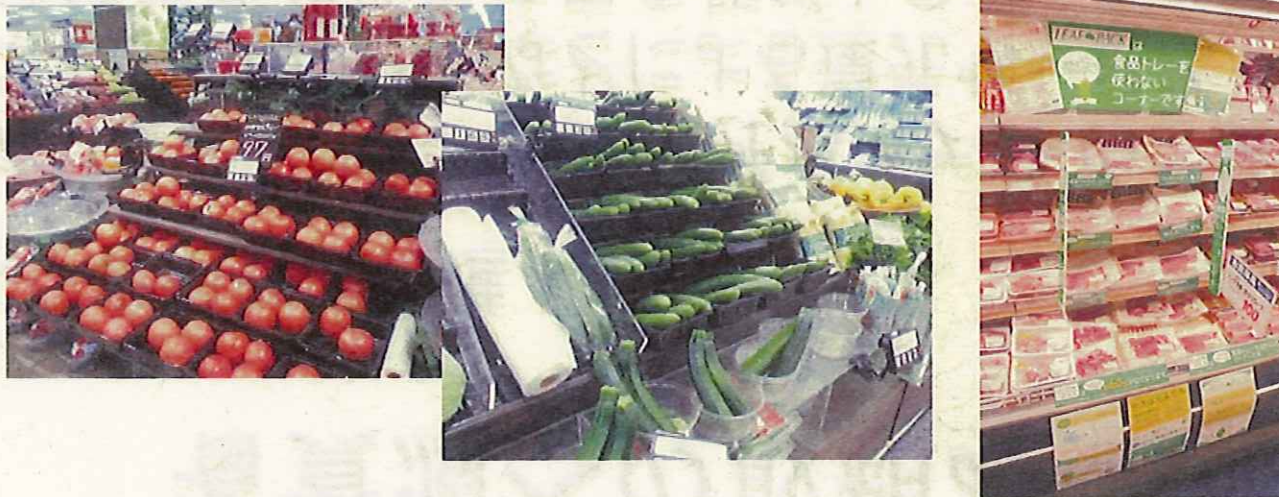
商品を安全にご提供
ばら売り・無包装の推進



省資源への取組み ③

○ばら売り・ノントレイ販売の取組み

会員企業の店舗においては、「包装適正化推進要綱」に基づきトレイの使用量の削減のため、野菜や惣菜のばら売りの展開を行っています。
また、畜産売場等においてトレイを使用しない「ノントレイ」販売を始めている企業もあります。



左、中：店頭での野菜のばら売りの様子 右：ノントレイ商品の販売の様子

省資源への取組み ④

○レジ袋削減の推進

- ◆オリジナルマイバッグ・マイバスケットのご提供
- ◆スタンプ・ポイントなどによる還元サービス
- ◆地域行政や地元住民の皆様とのパートナーシップ
→**レジ無料配布中止の導入**も始まっています



左: 繰り返しご利用いただけるバスケット

右: マイバッグでのお買い物を呼びかけています



省資源への取組み ⑤

○レジ袋削減の推進

「マイバッグでお買い物～レジ袋一緒に減らしましょう～」
キャンペーンを展開しています

- 2010年度末までに
レジ袋辞退率30%とする目標
を達成
(2013年9月現在→47.87%)
- まずは従業員からマイバッグ



省資源への取組み ⑥

日本チェーンストア協会の会員企業では地域の行政・お客様の協力のもと、協定を結ぶなどしてレジ袋の無料配布の中止を行ったり、レジ袋を辞退されたお客様にキャッシュバックなどのインセンティブを付与しています。

【レジ袋無料配布中止都道府県別実施店舗数】
2013年9月末時点 30社 2033店舗(38都道府県)

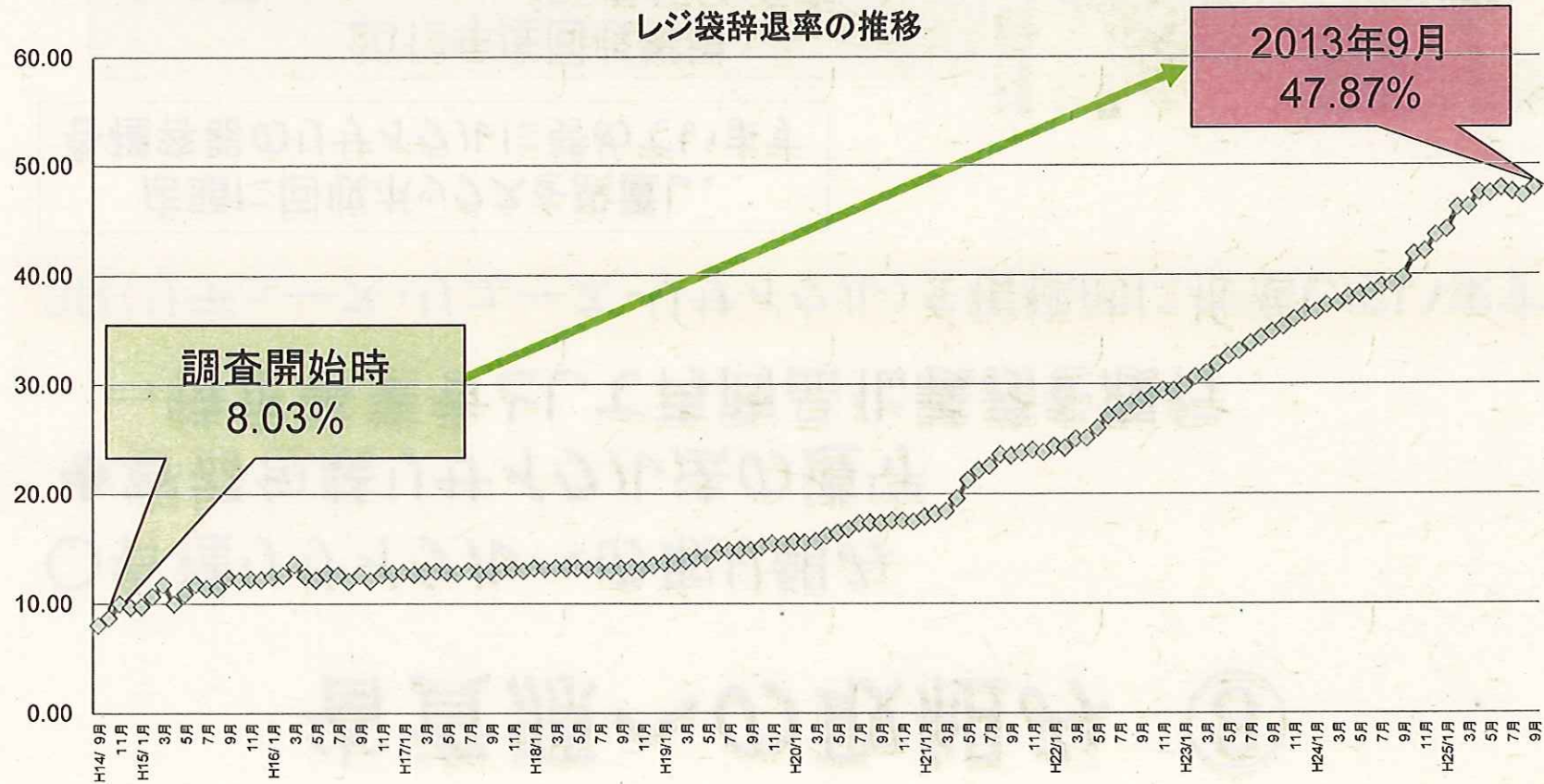
◆北海道	101	店舗	◆新潟県	2	店舗	◆兵庫県	89	店舗
◆青森県	9	店舗	◆富山県	60	店舗	◆奈良県	2	店舗
◆岩手県	1	店舗	◆石川県	43	店舗	◆和歌山県	16	店舗
◆宮城県	59	店舗	◆福井県	13	店舗	◆鳥取県	3	店舗
◆山形県	23	店舗	◆山梨県	16	店舗	◆島根県	12	店舗
◆福島県	83	店舗	◆長野県	13	店舗	◆岡山県	3	店舗
◆茨城県	164	店舗	◆岐阜県	121	店舗	◆広島県	77	店舗
◆栃木県	13	店舗	◆静岡県	149	店舗	◆山口県	133	店舗
◆群馬県	11	店舗	◆愛知県	251	店舗	◆愛媛県	10	店舗
◆埼玉県	80	店舗	◆三重県	126	店舗	◆高知県	2	店舗
◆千葉県	25	店舗	◆滋賀県	90	店舗	◆熊本県	3	店舗
◆東京都	163	店舗	◆京都府	15	店舗	◆大分県	4	店舗
◆神奈川県	36	店舗	◆大阪府	7	店舗			

【レジ袋辞退時のキャッシュバック都道府県別実施店舗数】
2013年9月末時点 20社 1231店舗(26都道府県)

◆岩手県	6	店舗	◆石川県	1	店舗	◆広島県	8	店舗
◆秋田県	6	店舗	◆長野県	20	店舗	◆徳島県	2	店舗
◆茨城県	16	店舗	◆静岡県	18	店舗	◆香川県	10	店舗
◆栃木県	63	店舗	◆愛知県	4	店舗	◆愛媛県	6	店舗
◆群馬県	86	店舗	◆京都府	18	店舗	◆高知県	2	店舗
◆埼玉県	213	店舗	◆大阪府	214	店舗	◆宮崎県	1	店舗
◆千葉県	99	店舗	◆兵庫県	98	店舗			
◆東京都	144	店舗	◆奈良県	60	店舗			
◆神奈川県	80	店舗	◆鳥取県	5	店舗			
◆新潟県	20	店舗	◆岡山県	31	店舗			

省資源への取組み ⑦

○レジ袋削減の推進 レジ袋辞退率の推移



省資源への取組み ⑧

○各種リサイクルへの取組み

◆容器包装リサイクル法の遵守

→特定事業者として再商品化義務を履行

3R(リデュース・リユース・リサイクル)を積極的に推進しています

店頭回収ボックスを設置し、
各種容器のリサイクルに努めています

2012年度回収実績

ペットボトル	約5億4762万本
紙パック	約3億0539万枚
プラスチックトレイ	約31億2970万枚

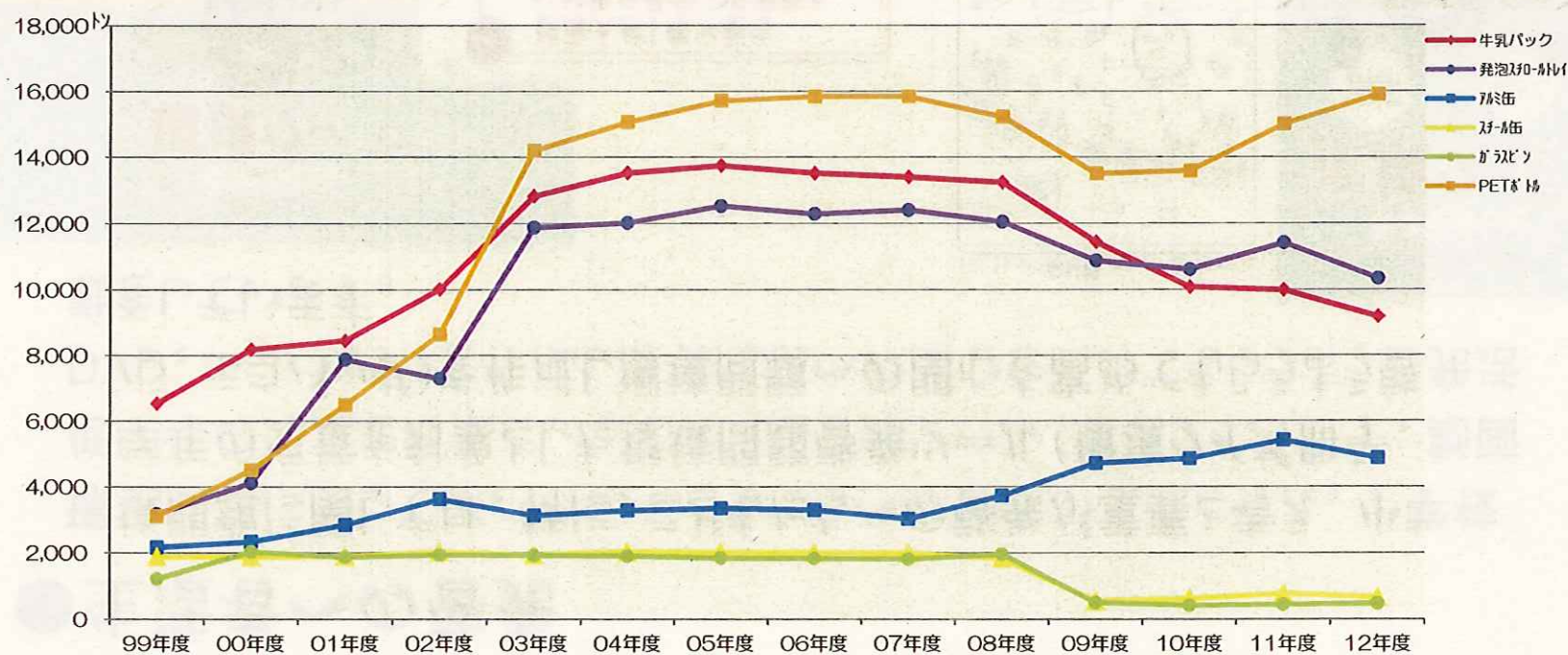
※環境省の3R見える化ツールより回収重量から換算

ペットボトル500ml:	29g
紙パック1000ml:	30.04g
プラスチックトレイ:	3.3g



省資源への取組み ⑨

○当協会会員企業における店頭回収の実績



2012年度店頭回収重量(トン)

牛乳パック	発泡スチロールトレイ	アルミ缶	スチール缶	ガラスビン	PETボトル
9,174	10,328	4,849	660	471	15,881

省資源への取組 ⑩

●生活者への啓発

環境問題に関しては、特に、こどもたちへの啓発が重要と考え、小学校低学年の児童を対象とした環境問題啓発ツール(環境クイズ冊子、動画DVD、エコバッグ)を作成し環境問題への関心を高めてもらうよう啓発活動をしています。



環境問題啓発ツール(左2枚:環境クイズ動画、右:環境クイズ冊子)

容器包装リサイクル法見直しに向けて

○容器包装リサイクル法の見直しに際して期待すること

①店頭回収について

- ・店頭回収の回収ルートとしての評価、店頭回収が進む措置の検討
- ・店頭回収をしている小売業者へのインセンティブの付与

②環境に配慮した容器包装に対する再商品化委託料の軽減措置

- ・バイオマスプラスチックを使用したレジ袋
- ・トレイを再生して製造したトレイ

③レジ袋無料配布中止の法制化

皆様とともに持続可能な未来を・・・

ご静聴ありがとうございました



Japan Chain Stores Association

日本チェーンストア協会

<http://www.jcsa.gr.jp/>